

## 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ローランズプラス II	事業所番号	1311301053
住所	東京都渋谷区千駄ヶ谷3-54-15ベルズ原宿ビル1F	管理者名	飯島 広介
電話番号	03-6434-0607	対象年度	令和7年度

### 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>世田谷うめとびあ</p> <p>医療ケア児のお花を通じた交流(お花キッズ)</p> <p>参加日: 2025年11月10日 2025年3月31日</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  <p>お申し込みはメールへ ohanakids.setagaya@gmail.com ohanakids.nursery@gmail.com</p> <p>3/31 (火) 13:30~15:30</p> <p>場 所: うめとびあび 調理実習室 〒158-8501 東京都世田谷区千駄ヶ谷3-54-15 (世田谷区立保健医療福祉総合センター) 駐車場有(各車で無料になります)</p> <p>参加費: 2000円   身体の方1,000円(1名につき) 材料費: 持ち帰り用紙皿など別途お持ちください。</p> <p>趣 意: 日々の生活の中で、五感を刺激され、花や植物を通して今まで見てこなかった子どもたちの新たな興味・関心を知ることができた。新たな興味を知ることで、スタッフや家族が提供する余裕がひろがった。 リピーターの参加者が何名もあり、季節のお花に触れることを楽しみにしている様子。 サブスクのお花と一緒に染色する作業をお仕事体験として設定しており、子どもたちが花屋の仕事を間接的に体験できる場となっている。</p> <p>得られた成果: 医療ケア児だけでなく、地域の子どもたちも一緒に参加する機会があり、子どもたちも、ローランズの当事者、お花キッズの当事者と触れ合うことで、さまざまな世代と交流することができ、地域の子どもたち・ローランズの当事者・お花キッズの医療ケア児とも世代間の交流ができた。 また、お花キッズ代表をはじめとする団体スタッフとの交流の中で会社以外の人との関わりを通して、お花に触れる楽しさを伝える、人をサポートする業務を体験していただき、A型メンバーである障害当事者も人をサポートできる、と自信をつけることができる機会となった。</p> <p>課題点: 担当スタッフが固定のため、別のスタッフにもより多くの障害当事者と交流の場を持ってもらいたいため、一連の業務を引き継ぐことができなくなる。 予算が限られているので、予算内でいかに子どもたちにお花を楽しんでもらえるかを検討することに工夫がかかっている。ある程度型を定める方向も検討している。 工数・生花の仕入れの依頼、ドライバーの確保、WS内容検討、ワークショップ日程調整、A型メンバーへの声掛け・調整、WS準備などがある。</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>地域連携活動のねらい・医療的ケア児とA型作業所利用者が「お花」を通じて交流することで、互いの理解を深め、共生社会の実現を目指す。 また、障がいの有無や年齢を超えた関係づくりを促進し、地域全体で支え合う風土を育むことを目的とする。 地域にとってのメリット: 医療的ケア児や障がい者への理解が深まり、偏見の軽減につながる、多様な人々が関わることで地域のつながりが強化される、福祉活動への関心が高まり、ボランティアや支援の輪が広がる、地域包括ケアの推進に寄与する。 対象者にとってのメリット: 相互理解が深まり、障がいに対する意識の変化が見られた、A型作業所利用者の自己肯定感や達成感の向上につながった、地域内でのつながりが強化され、新たな交流の機会が創出された、家族にとって外出や交流の機会となり、心理的なリフレッシュ(レスパイト)につながった。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>実施した結果 一花に触れることで子どもたちの五感が刺激され、花や植物を通して今まで見てこなかった子どもたちの新たな興味・関心を知ることができた。新たな興味を知ることで、スタッフや家族が提供する余裕がひろがった。 リピーターの参加者が何名もあり、季節のお花に触れることを楽しみにしている様子。 サブスクのお花と一緒に染色する作業をお仕事体験として設定しており、子どもたちが花屋の仕事を間接的に体験できる場となっている。</p> <p>得られた成果 医療ケア児だけでなく、地域の子どもたちも一緒に参加する機会があり、子どもたちも、ローランズの当事者、お花キッズの当事者と触れ合うことで、さまざまな世代と交流することができ、地域の子どもたち・ローランズの当事者・お花キッズの医療ケア児とも世代間の交流ができた。 また、お花キッズ代表をはじめとする団体スタッフとの交流の中で会社以外の人との関わりを通して、お花に触れる楽しさを伝える、人をサポートする業務を体験していただき、A型メンバーである障害当事者も人をサポートできる、と自信をつけることができる機会となった。</p> <p>課題点 担当スタッフが固定のため、別のスタッフにもより多くの障害当事者と交流の場を持ってもらいたいため、一連の業務を引き継ぐことができなくなる。 予算が限られているので、予算内でいかに子どもたちにお花を楽しんでもらえるかを検討することに工夫がかかっている。ある程度型を定める方向も検討している。 工数・生花の仕入れの依頼、ドライバーの確保、WS内容検討、ワークショップ日程調整、A型メンバーへの声掛け・調整、WS準備などがある。</p>	<p>連携先の企業等の意見または評価</p> <p>ワークショップで使うお花の一部は結婚式で先日使用したお花を再利用したものの、ローランズさんのSDGsの取り組みです。 子どもたち、ご家族それぞれの新たなフラワーアレンジメントとして生まれ変わり、幸せのおすそわけをいただきました。 フラワーアレンジメントを作ったあとはマンスリーギフト会員のみなさまへのギフトとなるお花の梱包、発送作業のお仕事体験も一緒に行い、笑顔あふれる楽しい時間となりました。</p>

連携先企業名	特定非営利活動法人Ohana kids	担当者名	友岡宏江
--------	---------------------	------	------